

令和2年度  
福島町議会  
定例会12月会議

令和2年12月9日(水)

諸般の報告  
(第1号)

福島町議会

## 提出された案件

### 1 町長提出

- 議案第37号 福島町国民健康保険税条例の一部改正について  
議案第38号 第5次福島町総合計画の変更について  
議案第39号 福島町過疎地域自立促進市町村計画の変更について  
議案第40号 令和2年度福島町一般会計補正予算（第7号）  
議案第41号 令和2年度福島町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）  
議案第42号 令和2年度福島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）  
議案第43号 令和2年度福島町国民健康保険診療所特別会計補正予算（第3号）

### 町長・その他の執行機関から通知のあった説明員

町長	鳴海 清春	副町長	工藤 泰
総務課長	小鹿 一彦	企画課長	住吉 英之
産業課長	川合 力哉	会計管理者	西田 啓晃
町民課長兼吉岡支所長	福原 貴之	福祉課長	鍋谷 浩行
建設課長	紙谷 一	認定こども園福島保育所園長	吉能 佳織
福祉センター次長	(石岡 大志)		
教育長	小野寺 則之	事務局長兼給食センター長	石岡 大志
代表監査委員	本庄屋 誠		

### 職務のため出席した議会事務局職員

議会事務局長	阿部 憲一	係長	福井 理央
主査	中島 和俊		

### 休会中の所管事務調査の申し出

- 11月18日 総務教育常任委員会から休会中の所管事務調査等の申し出があった。  
11月18日 経済福祉常任委員会から休会中の所管事務調査等の申し出があった。  
11月18日 広報広聴常任委員会から休会中の所管事務調査等の申し出があった。  
11月18日 議会運営委員会から休会中の所管事務調査等の申し出があった。

### 一部事務組合議会の報告

- 12月4日 佐藤孝男議員から令和2年第3回渡島西部広域事務組合議会定例会の報告があった。

## 研修の報告

11月24日 平沼昌平議員ほか2名から、令和2年度松前町議会・渡島西部町議会議員合同研修会の報告があった。

## 議会に関連した諸行事（令和2年度福島町議会定例会11月会議後、本日まで）

11月26日 議会運営委員会（定例会11月会議の反省）

12月2日 定例会12月会議一般質問通告

〃 議会運営委員会（定例会12月会議の運営）

4日 令和2年第3回渡島西部広域事務組合議会定例会（議長、関係議員）

〃 渡島西部4町重点要望事項協議（議長）

7日 定例会12月会議に係る議員勉強会（全議員）

9～10日 定例会12月会議

## 休会中の所管事務調査の申し出について

各常任委員会等から、休会中の所管事務調査等の通知があったので報告する。

令和2年12月9日提出

福島町議会議長 溝部 幸基

記

常任委員会名	調査事件名
総務教育常任委員会	調査事件 1 1 町税等の延滞金の取扱いについて 調査事件 1 2 その他所管に関する事項について
経済福祉常任委員会	調査事件 1 1 福島町森林組合の再建計画進捗状況について 調査事件 1 2 福島町社会福祉協議会の財政健全化計画について 調査事件 1 3 種苗生産等施設整備事業について 調査事件 1 4 今後の介護保険事業の運営等について 調査事件 1 5 今後の国民健康保険事業の運営等について 調査事件 1 6 学童保育の現状について 調査事件 1 7 その他所管に関する事項について
広報広聴常任委員会	調査事件 1 その他所管に関する事項について
議会運営委員会	地方自治法第109条第3項に規定する事項 1 議会の運営に関する事項 2 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項 3 議長の諮問に関する事項

## 渡島西部広域事務組合議会の報告

渡島西部広域事務組合議会より、12月4日開催の令和2年第3回定例会の報告があったので、下記のとおり報告する。

令和2年12月9日提出

福島町議会議長 溝部 幸基

記

### 令和2年第3回渡島西部広域事務組合議会定例会の 結果について (報告)

令和2年12月4日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

渡島西部広域事務組合議会議員  
報告者 佐藤 孝男

令和2年12月4日に開催された、令和2年第3回渡島西部広域事務組合議会定例会の結果を報告します。

#### 1 定例会の主な内容について

審議した内容は、条例の一部改正や補正予算など計4件であります。

#### 2 行政報告について

消防関係で、1件の行政報告がありました。

##### (1) 車両火災の発生について

11月18日(水)、松前町赤神地区の国道において、車両火災が発生しましたが、地元消防団員による早期消火活動により、人的被害はありませんでした。

### 3 審議した議案の内容について

件 名	内 容
<p>承認第1号 専決処分した事件の承認について 〔 職員の給与に関する条例の一部を 改正する条例 〕</p> <p style="text-align: right;">【原案可決】</p>	<p>今年10月7日の人事院勧告に基づく期末手当の引き下げについて、基準日までに条例改正が必要となったことから、11月24日に専決処分しましたので、その内容を承認したものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基準日 12月1日</li> <li>・期末手当引下げ月数 0.05月</li> </ul>
<p>議案第1号 職員の給与に関する条例の一部改正について</p> <p style="text-align: right;">【原案可決】</p>	<p>北海道危機対策課防災消防課からの防災航空隊員派遣要請に基づき、令和3年4月1日から3年間、松前消防署職員1名を勤務地である札幌市に派遣決定しました。</p> <p>札幌市については、人事院規則で定める地域手当支給対象地となっていることから、条例に地域手当を規定しました。</p>
<p>議案第2号 渡島西部広域事務組合火災予防条例の一部改正について</p> <p style="text-align: right;">【原案可決】</p>	<p>消防関係の省令改正により、電気自動車等の普及拡大のため、急速充電設備等の全出力の上限が50キロワットから200キロワットまでに拡大されましたので、条例を改正しました。</p>
<p>議案第3号 令和2年度渡島西部広域事務組合一般会計補正予算（第4号）</p> <p style="text-align: right;">【原案可決】</p>	<p>給与条例改正に伴う期末手当の引き下げや、標準報酬月額改定等により、168万3千円を減額し、総額を15億8,113万3千円としました。</p>

※議案・関係資料は、議会事務局に保管してありますので、ご参照ください。

## 研修報告について

研修に参加した議員から研修成果報告書が提出されたので、別紙のとおり報告する。

令和2年12月9日提出

福島町議会議長 溝部 幸基

記

### 令和2年度松前町議会・渡島西部町議会議員合同研修会

福 議 号  
令和2年11月24日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

福島町議会議長 溝部 幸基

令和2年度松前町議会・渡島西部町議会議員  
合同研修会報告書について (提出)

標記について、研修会参加者の報告書を取りまとめましたので、提出します。

研修事項	「みんなで考える町村議会～町村議会の現状と取り組み」 講師 全国町村議会議長会 総務部長 三宅 達也 氏
研修会場	松前町 (松前町町民総合センター)
研修期間	令和2年11月13日 (1日間)
参加議員	平沼昌平、藤山 大、溝部幸基
同行職員	事務局長 阿部憲一、係長 福井理央、主査 中島和俊

### 研修会の概要

合同研修会は、11月13日(金)に松前町で開催され、渡島西部四町議会議員はじめ関係者43人が参加し開催されました。

全国町村議会議長会 総務部長 三宅達也氏が、「みんなで考える町村議会～町村議会の現状と取り組み」と題した講演をしました。

研修会に参加した3人の議員の考察は、次のとおりです。

## 平沼 昌平 議員

・全国の町村議会の実態調査、地方議会をめぐる国の動向、議会活性化に向けたそれぞれの取り組み。また住民の視点から考える地方議会の在り方等、様々な観点から教えて頂いた。

議員定数の在り方については、様々な観点から住民の民意を反映させるには、どの様にすべきか今後慎重に考える事と同時に住民が如何に議会に興味を示し民意を反映させるために議会議員に参加をして頂くべきか、議会としても十分に議員の在り方、報酬、定数に対して町民の理解度向上を考えねばと感じる。

公職選挙法の一部改正が令和2年6月12日交付になったが、当町として今まで洗練された選挙の在り方を大きく変えることなく在りたいと考えるが議員のなり手不足の観点から選挙費用の軽減化に繋がるものは改善する点も今後は協議して条例制定に努めるべきと感じる。

・議会の活性化に向けた全国各地の議会の取り組みについては参考になった。それぞれの町の町民視線で取り組んでいる事は根幹とすべきものであるが、如何に議会活動が町民の思惑と一体化し議員各位がそれぞれの町民の代弁者で有る事を互いに距離感を持たずに協働してまちづくりの提言を意識して行い得るかにかかっていると思う。その為には町民との対話を議員も積極的に同視線で行う活動は当議会としても継続すべきで有ると感じる。

また、この度の資料にある各議会の取り組みについても当町に合うものもある様な気がするから試行的に行うことも時間、場所、集客にこだわらず行うことも必要と感じる。

・議員として町民の方々に感じてもらう必要性。議員間での協調性を持って町民の1/10の代表として質問質疑を住民の疑問と意識して、各議員の意見を集約した中で合意形成に努めるべきと感じた研修会であった。

## 藤山 大 議員

研修会に参加し、感想としては二つの点が気になる。

一つは、両常任委員会の存続、議員定数は、その町の人口も考え、議会自らが検証し導き考えていくのは基本（住民の理解も必要）。今の福島町では、6人構成で委員会は成り立っているが、定数削減になったときは、議員全員による全員協議会で対応すれば、両委員会の存続はできると考える。

二つ目は、議員のなり手不足。私が考える一つは、議員報酬の低さであると考ええる。議会（議員）に興味・関心・志があっても、生活できなければなれない職業だと思ふ。今後、なり手不足解消に向けて、住民の理解を得て、福島町議会議員報酬算定方式も考える必要が、今後あると考える。

## 溝部 幸基 議長

平成23年度渡島町村議長会の議員研修会で「地方自治法改正と地方議会の取組み」と題し講演を聞いて以来、久々でしたが、三宅さんらしく丁寧な説明で、資料を見ながら、しっかり話を聞いていると、基本的な復習として、あらためて議会議員の役割・国の動向・議長会の対応等を確認し、住民視点にたった議会活性化の課題が



自覚でき、今後の議会活動に反映させることが期待されるものと思われます。

平成23年度の研修会は、平成合併が平成22年3月で一区切りし、「合併推進」から「合併の円滑化」へ大きくシフトしたことを受けて、地方分権改革の進展と地方行財政制度の窮状など地方自治体を取巻く背景は、大きな転換期を迎え、住民の信頼に応えるために議会の役割が益々重要となっている中で、新たな時代を担う市町村議会議員としての資質向上を図ることを目的としたものでありましたが、この間の各議会・議員の成果を推察すると、研修の効果・必要性に疑義を感じざるを得ない。

再び同じことを繰り返すことの無いようしっかり議会・議員の活動として具現化されることを期待したい。そうでなければ、コロナ禍の厳しい状況の中、わざわざ三宅部長に来ていただいたことが無駄になり、礼を失することになると思慮する。

福島議会に関しては、平成26年全国町村議長会より町村議会特別表彰を受賞し、地方議会人（平成27年7月号）で「北海道福島町議会の議会改革の事績」として、「開かれた議会」を目指した取り組みから、「議会基本条例」制定、その後のさらなる議会改革の状況を紹介されていたことから、三宅部長も十分理解されているものと思っておりますが、講演・資料の内容から疑義が残る点もかなりありました。

議事調査部長から総務部長となり現状を充分把握できていないと思慮されますが、早い機会にお会いし議論できればと思っております。

- 選挙公営化：選挙公報の発行を推進することによる公費節減の可能性追求
  - ・選挙運動用葉書の発行自粛、条例化しないことによる選挙運動用ビラ発行の自粛の可能性、選挙運動用ポスター作成費の実態に合った積算検討
- 持続可能な議会の実現に向けた、個々の議会の主体的な取り組みの実践誘導
  - ・各都道府県議長会の情報発信不足、指導体制の整備、各級議長会役員の議会改革認識の醸成 ⇒ 議会改革の推進加速化
- 「町村議会議員の議員報酬等の在り方最終報告」提示後の積極的取組の推進
- 「通年議会制」のデメリット（執行機関拘束、コスト増加等）は無く、現状をしっかりと把握されていないと思慮される。
- 「一般質問答弁書の配布」については、一般質問主旨の解釈が旧態依然となっていないか？
- 「議会基本条例諮問会議」・「議会参画奨励条例」の存在を把握されていないのか？否定されているのか？事例として紹介されていなかったことは残念だ。